

—こどもの
ライフステージに
寄り添う医療を考える—

NICUから
自宅へ

参加
無料

2016

10/30 日

時間 10:00~16:00

※受付開始※9:30~

対象 全国の医療・福祉に携わる方、
行政関係者、患者・家族 等

場所

東京医科歯科大学
鈴木章夫記念講堂 (MDタワー2階)



1部

基調講演(文部科学省)
課題解決型高度医療人材養成プログラム
選定大学からの発表

ポスターセッション

2部

地方自治体の
グッドプラクティス
基調講演(厚生労働省)

〒113-8510
東京都文京区湯島 1-5-45

【最寄駅】

- ・JR「御茶ノ水駅」下車
出口：御ノ水橋口
- ・東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」下車
出口：1番出口

行き方

- ①「お茶の水門」から入り、病院へ続くスロープをお上がり下さい。
- ② 左手にあるガラス張りの建物がM&Dタワーです。

※会場へは、病院入口に入らず、左奥の建物を目指してください

お問い合わせ

鳥取大学×筑波大学合同フォーラム事務局

TEL 0859-38-7035 / 029-853-3785 (当日のお問い合わせ)

E-mail me-gakuji@ml.adm.tottori-u.ac.jp

HP 【重症児の在宅支援を担う医師等養成事業】 【ITを活用した小児周産期の高度医療人材養成事業】
<http://www.med.tottori-u.ac.jp/jushoji/> <http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/chd/kadai/>

事業概要

こどものライフステージに寄り添う医療を考えることのできる
医師・コメディカルを鳥取大学、筑波大学で育成します。



日程

1部 | 10:00 - 12:15

- 開会のあいさつ 前垣 義弘 / 鳥取大学医学部脳神経小児科学 教授
- 基調講演 「課題解決型高度医療人材養成プログラムについて」/ 文部科学省高等教育局医学教育課
- 課題解決型高度医療人材養成プログラム選定大学からの発表
 - ・「重症児の在宅支援を担う医師等養成事業」 前垣 義弘 / 鳥取大学医学部脳神経小児科学 教授
 - ・「ITを活用した小児周産期の高度医療人材養成事業」 須磨崎 亮 / 筑波大学医学医療系小児科 教授

お昼 | 12:15 - 13:15

13:15 - 14:15

- ポスターセッション
鳥取大学、筑波大学、秋田大学、山形大学、大阪市立大学、東京医科歯科大学、鳥取県子育て王国推進局 他

2部 | 14:30 - 16:00

- 地方自治体のグッドプラクティス ～岐阜県における重症心身障がい児者の現状と在宅医療支援施策～
山田 育康 / 岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課 課長補佐
- 基調講演 「小児在宅医療にかかる厚生労働省の取り組み」
桑木 光太郎 / 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 在宅医療推進室
- 閉会のあいさつ 須磨崎 亮 / 筑波大学医学医療系小児科 教授